

## 平成 30 年 6 月 9 日 臨床ウイルス学会総会 議事録

第 59 回日本臨床ウイルス学会会長

沼崎 啓 先生(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 国際感染症学 教授)の司会で総会を開始した

庶務報告

### 1. 庶務報告

会員数 平成 29 年度会員数 728 名 (+59) (名誉会員 1 名)

平成 28 年新入会員 48 名、退会会員 36 名、会費未納退会 29 名、

住所変更届、退会届、3 年間会費未納入者へ督促 3 年間未納会員は自動退会に

臨床とウイルスに挟み込みとは別途、会費請求を郵送

名簿管理 会費納入の督促と未払い年会費の請求、入退会者の管理

春恒社に業務委託 [cl.virol-kaiin@shunkosha.com](mailto:cl.virol-kaiin@shunkosha.com)

転居先不明の会員 20 名

賛助会員 12 社 平成 30 年 3 月 31 日現在、

メールアドレス 登録 (6 月 30 日まで) 現在

| 会社名 | 郵便番号 | 住所 |
|-----|------|----|
|-----|------|----|

|                     |          |                                |
|---------------------|----------|--------------------------------|
| 1) 武田薬品工業 (株)       | 103-8668 | 東京都中央区日本橋 2-12-10              |
| 2) 栄研化学             | 110-8408 | 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7         |
| 3) エスアールエル図書室       | 192-8535 | 八王子市小宮町 5 1                    |
| 4) 化学及血清療法研究所       | 860-8568 | 熊本県菊池旭志川辺 1314                 |
| 5) 第一三共 (株) ワクチン事業部 | 103-8420 | 東京都中央区日本橋本町 3-5-1              |
| 6) 大日本住友製薬          | 104-8356 | 東京都中央区京橋 1-13-1                |
| 7) デンカ生研            | 103-8338 | 東京都中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー 7 階 |
| 8) 一般財団法人阪大微生物病研究会  | 565-0871 | 大阪府吹田市山田丘 3 番 1 号              |
| 9) 富士レビオ            | 192-0031 | 八王子市小宮町 5 1                    |
| 10) サノフィーパスツール      | 163-1488 | 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー   |
| 11) 北里薬品産業株式会社      | 108-0073 | 東京都港区三田 5-4-3 三田プラザビル 2 F      |
| 12) ジャパンワクチン株式会社    | 102-0081 | 東京都千代田区四番町 6 番 東急番町ビル 10F      |

問い合わせ先：日本臨床ウイルス学会会員事務局

TEL: 03-5291-6231, FAX: 03-5291-2176

E-mail: [cl.virol-kaiin@shunkosha.com](mailto:cl.virol-kaiin@shunkosha.com)

臨床ウイルス学会ホームページの移管

事務局 (北里生命科学研究所) から春恒社に <http://clvirol.org/>

### 2. 活動報告

## 学術集会の開催

\*第 58 回日本臨床ウイルス学会(平成 29 年度)

会長 森内 浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻  
展開医療科学講座小児科学分野教授)

平成 29 年 5 月 27(土)・28 日(日) 長崎大学 良順会館

\*第 59 回日本臨床ウイルス学会 (平成 30 年度)

会長 沼崎 啓(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 国際感染症学 教授) 平成 30 年 6  
月 9 (土)・10 日(日) 大宮市 大宮ソニックシティ

## 予防接種推進専門協議会に参加

- HPV ワクチン接種推進に向けた関連学術団体の見解
- 風疹ゼロプロジェクトのお知らせ
- 日本耳鼻科学会からの難聴の中間報告
- ワクチンの安定供給に関する要望書
- おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する要望書

学会誌「臨床とウイルス」の発行 45-1, 2, 3, 4, 5

45-1 : 特集 臨床ウイルス分野の海外協力

45-2 : 第 58 回日本臨床ウイルス学会プログラム抄録集

45-3 : 特集 迅速診断キットの現状・その長所・改良すべき点

45-4 : 特集 第 58 回日本臨床ウイルス学会特集号

45-5 : 特集 中枢神経系とウイルス感染症

臨床とウイルス 増刊号 : 「ウイルス検査法 : 臨床と検査室のための手引き」

学会員には 46-3 号と一緒に発送予定

役員・幹事 (平成 29 年 6 月 - 平成 31 年 6 月)

総務幹事 : 中山 哲夫

常任幹事 : 庶務 細矢 光亮

編集 田中 智之

会計 皆川 洋子 春恒社

幹事 : 沼崎 啓、吉川 哲史、奥野 良信、寺田 喜平、牛島 廣治、白木 公康、  
堤 裕幸、山田 雅夫、森内 浩幸、竹田 誠、斎藤 昭彦

監事 : 榮鶴義人、尾崎隆男

臨床とウイルス

編集担当 : 田中 智之

編集委員: 尾崎隆男、田中 智之、永淵正法、中山 哲夫、皆川 洋子、森内 浩幸  
吉川 哲史、多屋馨子

臨床とウイルス 増刊号 ウイルス検査法 臨床と検査室のための手引き

臨床とウイルス 46-3 号と一緒に発送いたします。



## I 総論 1

### 感染症サーベイランス

Key Words : 感染症流行予測調査事業、抗体保有状況調査、感染症サーベイランス、NESID

#### 1. はじめに

国内で実施されている感染症サーベイランスにはさまざまな種類がある。

まず、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、感染症法)<sup>1)</sup>に基づいて実施されているサーベイランスは、感染症発生動向調査事業(発生動向調査事業)によって行われ、患者情報や病原体情報などをサンプルシステムとして統括する感染症サーベイランスシステム(National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases: 以下、NESID)がその中心である。また、予防接種法に基づいて実施されているサーベイランスは、感染症流行予測調査があり、定期的予防接種(以下、定期接種)対象疾患に関する国内の抗体保有状況が毎年調査されている。その他の、学校保健安全法に基づいて実施された感染症のうち、インフルエンザや麻疹については、毎週欠席者数が集計されており、感染症に関するサーベイランスとしても重要な役割を担っている。本稿では、おもに法律に基づいて実施されているサーベイランスについて、概説したい。

#### 2. 患者サーベイランス

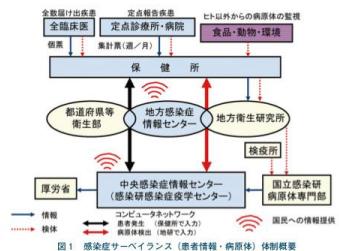
発生動向調査事業は、1981(昭和 56)年から 18 病種を対象に開始され、1987(昭和 62)年 1 月からはコンピューターを用いたオンラインシステムにおいて 27 病種を対象にする等に拡大されて適用された。そして、1999(平成 11)年 4 月に感染症法が施行されたことに伴い、発生動向調査事業は感染症法に基づく施策として位置づけられた。発生動向調査事業のなかで、国内の感染症に関する情報の収集および

公表、発生状況および動向の把握は感染症法第十二~二十六条に基づいて実施されている<sup>2)</sup>。感染症サーベイランス(患者情報・病原体情報)の体制概要について図 1 に示す。

発生動向調査事業の対象感染症については、大きく全数把握および定点把握の疾患は大別される。全数把握の対象疾患は、開拓への感染拡大防止を図ることが必要で、発生数が比較的大なく、定点を基にした正確な傾向把握が不可能な場合に対象となっている。定点把握対象疾患については、発生動向の把握が必要なものうち、患者数が多数で、全数を把握する必要はないと考えられている場合に該当する。患者定點については、都道府県は感染症法に基づく定點を指定して、一定の基準に基づく定點を設置して、一定の基準に基づく定點および疑似定點を定め、情報を収集する。

発生動向調査事業は、患者情報は、対象となる感染症を診断した医師・医療機関(定点把握の疾患については指定届出機関の管理者)から保健所へ届け出される。これらの情報について

### 感染症サーベイランス



最終的な収集が行われることが特徴の一つである<sup>3)</sup>。二類感染症の結果は、業務上の取り扱いが異なる。感染症の対象疾患について、感染症類型ごとに図 1 に示す(平成 28(2016)年 2 月 5 日現在)。

なお、収集された患者情報は、国レベルでは自治体を経て国立感染症研究所等の担当者による集計や分析が行われたのに対し、医療機関等へは元元されている。代表的な収集機関として、感染症法に基づき収集した患者の発生状況(報告数、推移等)については、感染症発生動向調査基報(infectious diseases weekly report: IDWR)として週 1 回の頻度で報告されている<sup>4)</sup>。また、流行情報をインフルエンザの発生状況に関する迅速な電子情報としては、インフルエンザ流行レベルマップがあげられる<sup>5)</sup>。

#### 3. 病原体サーベイランス

わが国における全国レベルの感染症サーベイ

ラントは、昭和 56(1981)年 7 月に国の予算事業として開始されたが、それに先立ち国予予防衛生研究所(現・国立感染症研究所)と全国の地方衛生研究所(以下、地衛研)との連携をはかるため、昭和 55(1980)年に衛生微生物技術協議会が組織され、感染症等の研究目的としたネットワークが構成された<sup>6)</sup>。現在の病原

体サーベイランスの原型が地衛研や旧・国予予防衛生研究所のネットワークにより開始されたものであることは、わが国の感染症の監視体制の構築における大きな特徴といっていいだろう。

病原体情報の取り扱いについては、平成 28(2016)年に大きな変化があった。すなわち、平成 26(2014)年 11 月の感染症法改正に伴い、感染症法に病原体の検査に関する明確な規定が設けられ、平成 28(2016)年 4 月 1 日から感染症に対する情報収集体制が強化された<sup>7)</sup>。すなわち、すべての感染症について、都道府県知事が患者等に対し検体の採取等に応じるよう要請できるようになったとともに、医療機関等に対して保有する検体を提供することを

## 資料2 日本臨床ウイルス学会収支報告

| 平成29年度 日本臨床ウイルス学会 収支計算書 (2017年1月1日～2017年12月31日) |                   |                   |            |                          |
|---|-------------------|-------------------|------------|--------------------------|
| 収入の部  |                   | (単位 : 円)          |            |                          |
| 科 目   | 予算額               | 決算額               | 増減         | 備 考                      |
| 前年度繰越金  | 5,000,878         | 5,000,878         | 0          |                          |
| 会費  | 8,100,000         | 7,900,000         | -200,000   |                          |
| 正会員会費   | 6,800,000         | 6,600,000         | -200,000   |                          |
| 賛助会員費   | 1,300,000         | 1,300,000         | 0          |                          |
| 掲載料   | 100,000           | 170,000           | 70,000     |                          |
| 広告収入  | 500,000           | 479,520           | -20,480    | 45-1、45-3～45-5           |
| 別売り収入   | 400,000           | 310,541           | -89,459    |                          |
| 雑収入   | 110,000           | 86,704            | -23,296    | 著作権使用料、利息                |
| <b>当期収入合計</b>                                   | <b>9,210,000</b>  | <b>8,946,765</b>  | -263,235   |                          |
| <b>合 計</b>                                      | <b>14,210,878</b> | <b>13,947,643</b> | -263,235   |                          |
| 支出の部  |                   |                   |            |                          |
| 科 目   | 予算額               | 決算額               | 増減         | 備 考                      |
| 事業費   | 6,100,000         | 7,442,106         | 1,342,106  |                          |
| 雑誌経費  | 5,500,000         | 6,852,106         | 1,352,106  | 45-1、45-3～45-5           |
| 印刷費   | 4,000,000         | 5,133,456         | 1,133,456  |                          |
| 発送費   | 400,000           | 369,421           | -30,579    |                          |
| 原稿料   | 1,000,000         | 1,136,524         | 136,524    |                          |
| 編集経費  | 100,000           | 200,853           | 100,853    | 査読・校正等 費用                |
| ウイルス検査法   | 0                 | 11,852            | 11,852     |                          |
| 抄録集学会支援   | 500,000           | 500,000           | 0          | 第58回                     |
| 若手奨励賞   | 100,000           | 90,000            | -10,000    |                          |
| 管理費   | 1,490,000         | 1,540,851         | 50,851     |                          |
| 事務費   | 200,000           | 364,435           | 164,435    | 表彰用品、抄録集事務局購入分、発送費、コピー代等 |
| 会議費   | 10,000            | 0                 | -10,000    |                          |
| 諸会費   | 80,000            | 80,000            | 0          | 臨床検査標準協議会、予防接種推進専門協議会    |
| 業務委託費   | 1,200,000         | 1,096,416         | -103,584   |                          |
| <b>当期支出合計</b>                                   | <b>7,590,000</b>  | <b>8,982,957</b>  | 1,392,957  |                          |
| 次期繰越金   | 6,620,878         | 4,964,686         | -1,656,192 |                          |
| <b>合 計</b>                                      | <b>14,210,878</b> | <b>13,947,643</b> | -263,235   |                          |
| 当期収支差額  |                   | 1,620,000         | -36,192    |                          |

## 監 査 報 告 書

日本臨床ウイルス学会平成29年度（2017年度）収支決算報告書を監査した結果、正確妥当なものと認めます。

平成30年5月21日

監 事 尾崎 隆男

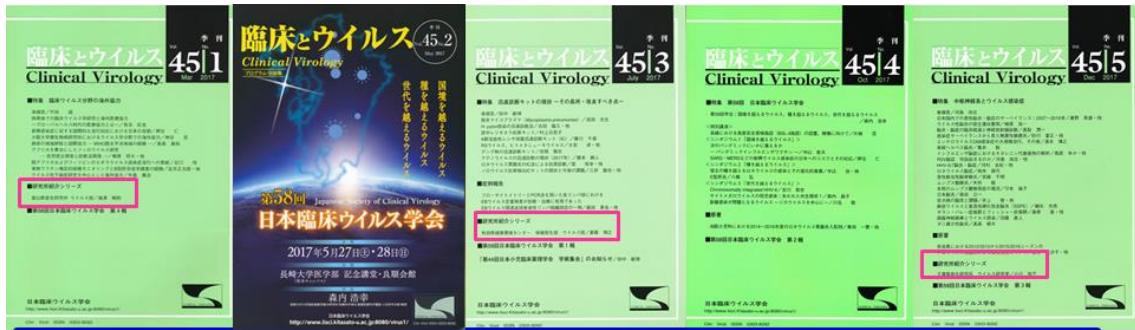
印

平成30年5月27日

監 事 佐藤 義人

印

| 資料4 平成30年度 日本臨床ウイルス学会 予算案（2018年1月1日～2018年12月31日） |            |            |                       |
|--|------------|------------|-----------------------|
| 収入の部   |            | (単位：円)     |                       |
| 科 目  | 前年度予算額     | 予算案        | 備 考                   |
| 前年度繰越金   | 5,000,878  | 4,964,686  |                       |
| 会費   | 8,100,000  | 8,100,000  |                       |
| 正会員会費  | 6,800,000  | 6,800,000  |                       |
| 賛助会員費  | 1,300,000  | 1,300,000  |                       |
| 掲載料  | 100,000    | 100,000    |                       |
| 広告収入   | 500,000    | 500,000    | 46-1、46-3～5           |
| 別売り収入  | 400,000    | 400,000    |                       |
| 雑収入  | 110,000    | 110,000    |                       |
| 当期収入合計   | 9,210,000  | 9,210,000  |                       |
| 合 計  | 14,210,878 | 14,174,686 |                       |
| 支出の部   |            |            |                       |
| 科 目  | 前年度予算額     | 予算案        | 備 考                   |
| 事業費  | 6,100,000  | 8,260,000  |                       |
| 雑誌経費   | 5,500,000  | 5,500,000  |                       |
| 印刷費  | 4,000,000  | 4,000,000  | 46-1、46-3～5           |
| 発送費  | 400,000    | 400,000    |                       |
| 原稿料  | 1,000,000  | 1,000,000  |                       |
| 編集経費   | 100,000    | 100,000    | 査読・校正等 費用             |
| ウイルス検査法製作費                                       | 0          | 2,160,000  |                       |
| 抄録集学会支援  | 500,000    | 500,000    | 第59回                  |
| 若手奨励賞  | 100,000    | 100,000    |                       |
| 管理費  | 1,490,000  | 1,490,000  |                       |
| 事務費  | 200,000    | 200,000    | 発送費、コピーディ、手数料         |
| 会議費  | 10,000     | 10,000     | 会議交通費                 |
| 諸会費  | 80,000     | 80,000     | 臨床検査標準協議会、予防接種推進専門協議会 |
| 業務委託費  | 1,200,000  | 1,200,000  | 春恒社委託費                |
| 当期支出計  | 7,590,000  | 9,750,000  |                       |
| 次期繰越金  | 6,620,878  | 4,424,686  |                       |
| 合計   | 14,210,878 | 14,174,686 |                       |
| (当期收支差額)   | 1,620,000  | -540,000   |                       |



- 特集 45(1) 臨床ウイルス分野の海外協力 (9編) (オーガナイザー Dr.竹田 誠)**  
**45(3) 迅速診断キットの現状 - その長所・改良すべき点 - (10編) (オーガナイザー Dr.田中敏博)**  
**45(4) 第58回日本臨床ウイルス学会 巻頭言 第58回学会 国境を越えるウイルス, 種を越えるウイルス, 世代を超えるウイルス (学会報告 9編) (オーガナイザー Dr. 森内浩幸)**  
**45(5) 中枢神経系とウイルス感染症 (20編) (オーガナイザー Dr. 河島 尚志)**

**45(3) 床例報告: フローサイトメトリーとPCR法を用いた各リンパ球におけるEBウイルス定量検査が診断・治療に有用であったEBウイルス関連血球食性リンパ組織球症の一例。**

Drs. 飯田貴也, 今川智之 (神奈川県立こども医療センター)

**45(4) 原著: 当院小児科における2014~2016年度のロタウイルス胃腸炎入院例**

Drs. 春田一憲, 尾崎隆男, 鬼頭周大, 小澤慶, 後藤研誠, 竹本康二, 吉川哲史, 西村直子

(江南厚生病院こども医療センター, 藤田保健衛生大学医学部小児科学)

**45(5) 原著: 奈良県における2012/2013から2015/2016シーズンのノロウイルス胃腸炎による集団発生について。**

Drs. 藤谷美沙子, 米田正樹, 稲田真知, 千葉翔子, 尾西美咲, 中野守, 榎井毅

(奈良県保健研究センター)

#### 研究所紹介シリーズ

**45(1) 富山県衛生研究所  
ウイルス部  
Dr. 滝澤 剛則**

**45(3) 秋田県健康環境センター  
保健衛生部 ウイルス班  
Dr. 斎藤 博之**

**45(5) 千葉県衛生研究所  
ウイルス検査室  
Dr. 小川 知子**

## 資料5 臨床とウイルス 投稿規定

- 1) 学会事務局の春恒社で一貫して原稿の受付、初校、校正、印刷、発行を行うことで白橋から春恒社へ変更することが承認された。
  - 2) 投稿規定の変更 英文抄録をつけることになったが字数がまちまちであり統一することが提案され承認された。
- \*要旨の字数制限 400字以内
- \*英文要旨の字数制限 250 words
- \*カラーの図表: カラー図の必要性

## 第5回 若手奨励賞

若手奨励賞選考委員会において候補演題8演題が選出され、講演後選考委員会を開催し以下の3名が若手奨励賞を受賞された。

|           |                             |  |
|-----------|-----------------------------|--|
| 東本<br>祐紀  | 藤田保健衛生大学<br>医療科学部<br>臨床検査学科 | ロタテックワクチン(RV5)接種後の便中ワクチンウイルス株<br>排泄の解析                                 |
| 稻垣<br>拓哉  | 国立感染症研究所<br>ウイルス第一部         | 報告されているアシクロビル治療抵抗性のHSV-1脳炎患者で検出されたHSV-1チミジンキナーゼ遺伝子変異がアシクロビル耐性を誘導するかの検証 |
| 三根<br>敬一朗 | 九州大学 生体<br>防御医学研究所<br>感染制御学 | 新規ウイルス糖尿病感受性遺伝子の同定を目的とした<br>DBA/2マウスの病態解析                              |

その他

バックナンバー購入希望は 注文票：臨床ウイルス学会ホームページにあげますので

注文書送付先：

日本臨床ウイルス学会会員事務局

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9階

(株)春恒社 学会事務局内

TEL: 03-5291-6231 FAX: 03-5291-2176

E-mail:cl.virokaiin@shunkosha.com

必要事項をご記入の上、FAX・メール又は郵送にてお送り下さい。